

第2学年 国語科学習指導案

1. 単元 ようすを考えて読もう 「お手紙」
教科書教材「お手紙」・関連教材「おちば」

2. 指導の考え方

○ 子どもの実態

本学年の子どもたちは、これまでに、物語文「ふきのとう」「スイミー」の学習では挿し絵、と叙述をつないで場面の様子を想像しながら読む力、人物の言動を表す叙述から、登場人物の様子や気持ちを読み取る力を身に付け、説明文「たんぼぼのちえ」「サンゴの海の生きものたち」では、時間や順序を表す言葉に着目して、語や文のまとまりに気を付けて読む力を身に付けてきている。

しかし、生活経験やこれまでに体験したことに個人差があり、場面の様子や人物の気持ちを想像を広げながら読むことがまだ十分ではない。

「関連づけて読む」活動については、「たんぼぼのちえ」の学習の中で、あちらこちらに仲間を増やすための知恵について学び、そこで生まれた「あちらこちらに咲いている他の植物にも、たんぼぼのような知恵があるのか。」という課題をもって、関連教材「すみれとあり」で関連づけて考える学習を行っている。その中で、植物が仲間を増やすためには、種をたくさんつくったり、種を飛ばしたり、自然や他の生き物の力をかりたりしているという共通点を明らかにし、「いろいろな所に咲いている他の植物にも、あちらこちらに仲間を増やすための知恵がある。」という、植物の知恵についての見方・考え方を深めることができるようになっている。

○ 教材の価値・特質

教科書教材「お手紙」は、誰からもお手紙をもらったことがないと悲しんでいるがまくんと、そんながまくんに手紙を出すことを思いつき、がまくんのために一生懸命に行動するかえるくんと友情を描いた物語文である。本作品は、子どもたちに親しみやすい登場人物の設定と、かえるくんとがまくんの会話から、最初はかなしい気分である二人が、様々なふれ合いを通してとてもしあわせな気持ちになる過程は、子どもたちに共感を与える。そして、自分だけでなく、友達との関わりを深め始めた2年生にとって、友達のよさを感じさせられる作品である。

また、挿し絵によって話のあらすじがとらえやすいので、挿し絵を手がかりとして、かえるくんとがまくんの言動を順序よくたどることができ、場面ごとの二人の微妙な心の動きを考えたり、場面の様子を想像したりすることができる。と考える。

文章構成の特質としては、まだ一度もお手紙をもらったことがないがまくんの悲しい思いをかえるくんが自分の悲しみとして受け止め、「ふたりともとてもかなしい気分」でいる冒頭から、「とてもしあわせな気持ち」になるまでの様子が5つの場面では描かれている。

文章表現の特質としては、ほとんどががまくんとかえるくんの会話で進行している。がまくんに手紙が来ることへの期待をもたせようとするかえるくんの言動や、だんだんとあきらめていくがまくんの言動をつないで読みながら、人物の気持ちを想像を広げながら読む力を身に付けさせるのに適した教材であるといえる。

関連教材「おちば」は、たくさんの落ち葉が散る秋に、自分の家のことはさておき、互いに相手の家の落ち葉をきれいにして相手を喜ばせようとする話である。友だちが困っている時に、相手のために一生懸命に行動する「親友」を学習した後の子どもたちに、何気ない日常の一こまでも相手のことを考えて、喜ばせたいと思い行動していくことも親友なんだということに気付かせ、「親友」についての見方・考え方を深めるのに適した教材である。

○ 指導にあたって

読みのめあて

題名「お手紙」の「お」に着目し、「お手紙」には何か大切なことが書いてありそうなこ

とや、お手紙が話の中で大切なはたらきをしそうなことを読み取らせる。冒頭には、お手紙をもらったことがないことで、不幸せで悲しい気分になっているがまくんの様子を読み取り、それを自分のこととして受け止め、かえるくんまでもがお手紙がこなくて悲しい気分でこしを下ろしていた様子から、『かなしい気分でもこしを下ろしているがまくんとかえるくんが、これからどうなるお話だろう。』という読みのめあてを生み出す。

予見

読みのめあてに沿って全文を読み通し、挿し絵やがまくんとかえるくんの言動を基に、場面ごとにあらすじをまとめさせる。がまくんとかえるくんのしたことを順序よくとらえさせ、二人がどうなったのかを話し合い、学級の予見を方向付ける。

学習計画

予見の方向付けを基に、場面ごとにもっと知りたいことやよく分からないことを出し合い、かえるくんのがまくんへの気持ちや、がまくんのかえるくんへの気持ちで読み深める箇所をはっきりさせ、予見を読み深め・確かめていく計画を立てる。

読み深め・確かめ

読み深め・確かめでは、がまくんを喜ばせるために一生懸命なかえるくんの言動や、かえるくんが自分のことを思ってくれていることを知り、喜ぶまでのがまくんの言動を詳しく読むことで、がまくんやかえるくんの気持ちを場面ごとに読み深め・確かめていく。

読み・読み方のまとめ

これまでの読みを振り返りながら、題名「お手紙」に戻り、ふたりとも幸せな気持ちになったわけや親友というものはどういうものかについて考えを出し合い読みのまとめをする。さらに、親友というものは、相手が困っている時には相手のために一生懸命するものだけれど、何気ない普段の生活の中ではどうしているのか、他のお話の中でのがまくんやかえるくんはどのようにしているのか考えさせ、関連教材への導入を図る。また、挿し絵と言葉をつないで読む読み方、言葉を比べて読む読み方、似た言葉と比べて読む読み方、などの読み方を整理して、言葉の読み方についてまとめる。

「関連づけて読む」活動

「おちば」を、「お手紙」と「関連づけて読む」活動を通して、お手紙で学習した親友についての見方・考え方を深めることができるようにする。

3. 単元の目標

- がまくんとかえるくんの言動や様子を基に、二人の気持ちの移り変わりや心のふれあいを読み取ることができる。
- 挿し絵の違いに気を付けて挿し絵と言葉をつないで読む読み方や、様子を表す言葉や複合動詞に着目して言葉を比べて読む読み方や似た言葉と比べて読む読み方を身に付けることができる。
- 困っている友だちに対して一生懸命に行動する「お手紙」と「おちば」とを「関連づけて読む」ことによって親友についての見方・考え方を深めることができる。

4. 学習計画（全13時間）

過程	時	主な学習活動と内容	指導上の留意点 (◎基礎・基本の重点、※「関連づけて読む」活動に関して)
読 み の	1	1 題名から考えたことや、疑問に思ったことを出し合う。 ○ 題名の「お手紙」の「お」の意味をかながえさせる。	○ 「の」の意味に着目させることで、大切な物であることや、その内容が大事であることに気付かせる。
	2	2 題名と冒頭をつないで読みのめあてを生み	○ お手紙がもらえずに悲しんでいるがま

めあて	出す。	くんと、それを心配するかえるくんのふたりともがかなしい気分になっていることから、これからの展開について想像させる。
<p>[読みのめあて] かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしているふたりはこれからどうなるのだろう。(お手紙がもらえるのかな。)</p>		
予見	<p>2 1 読みのめあてに沿って全文を読み通し予見を書きまとめる。</p> <p>4 2 個人の予見を交流し、予見を方向付ける。</p>	<p>○ 挿し絵や、がまくんやかえるくんの言動、場面の様子の移り変わりを手がかりにして大まかなあらすじをとらえさせる。</p>
<p>はじめに、かえるくんが大いそぎで家に帰ってお手紙を書いてかたつむりくんにたのんだ。つぎに、がまくんのにもどり、がまくんをはげましながらお手紙が来るのをまった。それから、がまくんがあまりにおこっていたのでお手紙のことをがまくんに話した。そうしてふたりともとてもしあわせな気持ちになったというお話。</p> <p>[予見の方向] かなしい気分でこしをおろしていたふたりは、かえるくんががまくんのためにいろいろなことをしてがまくんにお手紙を出し、がまくんがお手紙がもらえて喜んだから、ふたりともとてもしあわせな気持ちになった。</p>		
学習計画	<p>5 1 予見の共通点や相違点、曖昧な点等を明らかにし、読み確かめていく計画を立てる。</p>	<p>○ 各場面で、よく分からないことやもっと知りたいことを出し合い、場面ごとに読み確かめることを明らかにする。</p>
<p>[学習計画] ① 大いそぎで家に帰ったかえるくんの様子から、気持ちを読み深める。 ② がまくんの家に帰った後のかえるくんやがまくんの様子から、ふたりの気持ちを読み深める。 ③ お手紙のことを話すかえるくんと、その内容を聞いたがまくんの様子から、ふたりの気持ちを読み深める。 ④ かえるくんからのお手紙を待っている時の様子から、ふたりの気持ちを読み深める。</p>		
読み深め・確かめ①	<p>6 1 大いそぎで家に帰ったかえるくんの様子から、かえるくんの気持ちを讀んでいくことを確認する。</p> <p>2 かえるくんが大いそぎで家に帰ったわけについて考える。 ○ 冒頭の文やがまくんの様子をつないで、心配しているかえるくんの気持ちを讀み取る。</p> <p>3 かえるくんが家に帰ってからお手紙を書く様子について話し合う。 ○ 少しでも早くがまくんのもとへお手紙が届くように一生懸命に急いでいる様子を読み取る。</p> <p>4 お手紙を頼んだ後、がまくんの家に帰ったわけを考える。</p> <p>5 この場面での、かえるくんのがまくんに対する気持ちをまとめる。</p>	<p>○ 学習計画を振り返り、本時で学習する内容を確認する。</p> <p>○ お手紙を一度ももらったことがないがまくんのことを考えて、同じようにかなしい気分になっているかえるくんの気持ちを挿し絵とつないで考えさせる。</p> <p>◎ 「～しました。」「～しました。」と次々とたたみかけるように書かれてあることや、「飛び出しました。」と「出ました。」を比べることで、とても急いでいる様子を読み取らせる。</p> <p>○ がまくんのこと気がなっているかえるくんの気持ちを讀み取らせる。</p> <p>○ 板書で整理したがまくんのことをもとに、今日詳しくなったかえるく</p>

		<p>んの気持ちを書きまとめさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日のかえるくんはね、大いそぎで家に帰って、急いで手紙を書いて、飛ぶように家を出てかたつむりくんにお手紙を頼んだんだよ。それはね、一度もお手紙をもらったことがないがまくんに少しでも早くお手紙を届けたかったからだよ。悲しんでいるがまくんを喜ばせたかったんだよ。</p> </div>
<p>読み深め・確かめ②</p>	<p>7</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 がまくんの家に戻った後のかえるくんやがまくんの様子から、ふたりの気持ちを読んでいくことを確認する。 2 がまくんが、ベッドでお昼寝をしているわけを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ○ お手紙を待っているのが悲しい気分が続いていることを読み取る。 3 まどからゆうびんうけを見ている時のかえるくんの様子から気持ちを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ がまくんに話しかけながら、自分が出したお手紙が届く期待感を読み取る。 4 まどから何度も外をのぞいている時のかえるくんの気持ちを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ なかなかお手紙がこないの、あせるかえるくんの気持ちを読み取る。 5 この場面での、がまくんとかえるくんの気持ちをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今日のかえるくんはね、何度も窓の外や郵便受けをのぞいてお手紙が来るのを待っていたんだよ。それはね、自分が急いで書いたお手紙が届くことが分かっていたから、あきあきしているがまくんのかわりにお手紙がくるのを待っていたんだよ。でも、なかなかお手紙がこないし、がまくんもだんだん強い言い方になってきたから、速くお手紙がこないかと何回も外を見ていたんだよ。</p> </div>	<p>○ 前時のかえるくんのしたことを振り返らせ、本時で学習する内容を確認する。</p> <p>○ お昼寝をしている挿し絵のがまくんの表情から、がまくんがまだ、悲しい気分であることを読み取らせる。</p> <p>◎ 「ゆうびんうけを見ました。」という叙述と挿し絵をつないで読むことで、早くがまくんを喜ばせたいというかえるくんの気持ちを読み取らせる。</p> <p>◎ 「ゆうびんうけを見ました。」と「まどからのぞきました。」の違いや、1回目と2回目の「まどからのぞきました。」の違いから、お手紙がなくて困っているかえるくんの気持ちを読み取らせる。</p> <p>○ 会話文をつないで板書で整理したことをもとに、今日詳しくなったかえるくんの気持ちを書きまとめさせる。</p>
<p>読み深め・確かめ③</p> <p>本時</p>	<p>8</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 お手紙のことを話すかえるくんと、その内容を聞いたがまくんの様子から、ふたりの気持ちを読んでいくことを確認する。 2 かえるくんがお手紙のことを言ったわけについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ がまくんがだんだんおこっている様子とお手紙がこない事実から、どうしようもないがまくんの気持ちを読み取る。 3 お手紙のことを聞いたがまくんの気持ちを話し合う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) お手紙のことを聞いたがまくんの気持ちを考える。 (2) お手紙の内容を聞いたときのがまくんの気持ちを考える。 4 この場面での、がまくんとかえるくんの気持ちをまとめる。 	<p>○ だんだんあせるかえるくんと、だんだんおこっていくがまくんの様子を振り返り、本時で学習する内容を確認する。</p> <p>○ 前時に学習した「そんなこと、あるものかい。」「ばからしいこと、言うなよ。」という叙述から、がまくんの強い口調と聞いたかえるくんの気持ちを考えさせる。</p> <p>○ 挿し絵と「きみが。」「お手紙に、なんて書いたの。」の叙述をつないで、初めてお手紙のことを知るがまくんの気持ちを考えさせる。</p> <p>◎ 一般的な手紙と違い「親愛なる」や「親友」と書かれてあることから、がまくんの気持ちを考えさせる。</p> <p>○ 板書で整理したことをもとに、今日詳しくなったがまくんと、かえるくんの気</p>

		持ちを書きまとめさせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日のかえるくんはね、お手紙を出したことをがまくんに言ってしまったんだよ。それはね、がまくんにお手紙が来ると励ましても信じなくて、だんだんおこったようになってきたからだよ。お手紙のことを聞いて、がまくんは、「とてもいいお手紙」と言ったんだよ。それはね、自分を大事な友だち「親友」と言われてとても嬉しかったからだよ。</p> </div>
読み深め・確かめ④	<p>9</p> <ol style="list-style-type: none"> かえるくんからのお手紙を待っている時の様子から、ふたりの気持ちを読んでいくことを確認する。 お手紙が来ていないのに、とてもしあわせな気持ちでいるわけを話し合う。 <ol style="list-style-type: none"> がまくんがとてもしあわせなわけを考える。 <ul style="list-style-type: none"> だれもお手紙をくれないと思っていたのに、そばに親友がいることに気付いたがまくんの気持ちを読み取る。 かえるくんがとてもしあわせなわけを考える。 <ul style="list-style-type: none"> がまくんを喜ばせたいとがんばってきたかえるくんの思いを読み取る。 長いこと待っている間にどんな話をしていたか考え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> がまくんが、かえるくんのしてくれたことに感謝をする思いを読み取る。 お手紙をもらったがまくんの気持ちを考える。 <ul style="list-style-type: none"> 長い間ほしかったお手紙を親友からもらった喜びを読み取る。 この場面での、ふたりの気持ちをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日のがまくんはね、お手紙を待つ時間もとても幸せな気持ちだったんだよ。それはね、自分を親友といってくれるかえるくんがいつもそばにいてくれて、自分のために一生懸命にしてくれたことがわかったからだよ。そんながまくんが喜んでいる様子を見て、かえるくんもうれしくなったんだよ。だから、ふたりとも、とても幸せな気持ちですわっていたんだよ。</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 悲しい気分でこしをおろしていた挿し絵と、幸せな気持ちでこしをおろしている挿し絵を比べることで、前時までの学習を振り返りながら、本時の内容を学習していくことを確認する。 ○ お手紙はもらっていないけれど、自分のことを大切に思ってくれるかえるくんの存在に気付いたことを読み取らせる。 ○ これまでかえるくんがしてきたこととつないで、がまくんが悲しむと自分も悲しく、がまくんが喜ぶと自分も嬉しいというようなかえるくんのやさしさを読み取らせる。 ◎ がまくんとかえるくんの会話をふき出しに書き、かえるくんががまくんのために一生懸命だったことを振り返らせる。 ○ 冒頭の叙述とつないで、「一日のうちのかなしい時…」と言っていたがまくんが、お手紙を初めてもらう気持ちを考えさせる。
読み・読み方のまとめ	<p>10</p> <ol style="list-style-type: none"> これまで読んだことをもとに、読みのまとめをする。 「親友」について考える。 <ul style="list-style-type: none"> かえるくんはがまくんがそれ以上悲しまないように、一生懸命に相手のために行動していたことを捉える。 読み方のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 挿し絵と言葉をつないで読む ○ 言葉ははずして読む ○ 似た言葉と比べて読む ○ 前の場面とつないで読む 	<ul style="list-style-type: none"> ○ とても悲しい気分だったふたりがとても幸せな気持ちになったわけをまとめる。 ※ 相手が困っていたり、悩んでいたりする時に、一生懸命に思ったり行動したりしてくれるのが親友ということに気付かせる。 ○ 学習した読み方を振り返り、「読み方の種」としてまとめ、これからの学習に生かせるようにする。

11	1 関連教材「おちば」を読み、親友について考えていくことを確認する。	※ 親友らしいところに着目しながら、お話を読ませる。
12	2 「親友」ということが分かる挿し絵を選ぶ。 ○ 相手のことを考えて行動している挿し絵を選ぶこと	※ 「がまくんおどろくだろうなあ。」「かえるくんとてもよろこぶだろうな。」などという、相手のことを驚かせたり、喜ばせたりしようとしている文に立ち止まらせる。
13	3 「お手紙」と「おちば」を比べて読み、共通点や相違点を話し合う中で、「親友」への見方・考え方を深める。	※ 「お手紙」では、相手が困っている時に相手のことを思って行動していたけれど「おちば」では、困っている時だけでなく、日常の何気ない時にでも相手のことを思い、相手が喜ぶことをして自分もしあわせになるというような、「親友」に対する見方・考え方を深めることができるようにする。

「お手紙」で学習したときの「親友」というのは、相手が困っているときに、相手のために一生懸命に何かをしてあげたり、励ましてあげたりすることができる友だちと学習しました。でも、「おちば」読んで、何もないときでも、相手を喜ばせようと行動していることも「親友」だとわかりました。

6. 本時の目標

- お手紙を出したことをいってしまったかえるくんの思いや、お手紙のことを聞いたがまくんの様子からふたりの気持ちを読み取ることができる。
- 言葉を比べて読む読み方や、言葉ははずして読む読み方を身に付けることができる。

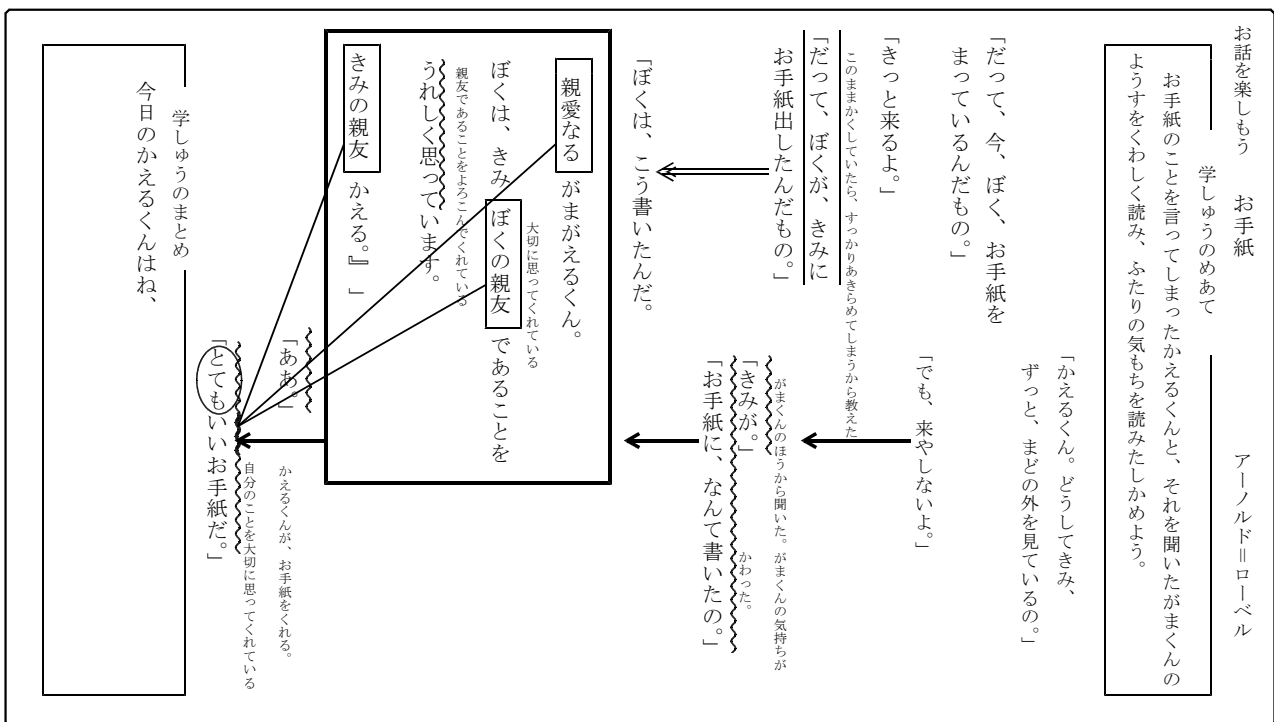
7. 本時指導の考え方

前時までに、子どもたちは、お手紙がこないとだんだん になっていくがまくんと、そんながまくんを励まし続け、だんだん っていくかえるくんの様子や気持ちを読み取る学習を行っている。

本時は、お手紙が来ないとあきらめて、だんだん強い口調になっていくがまくんに、お手紙を出したことを言うてしまう場面である。かえるくんが教えた、お手紙の内容の何がいいのかについて考えることによって、がまくんはかえるくんから親友と思われていることを知り、とても幸せな気持ちになることを読み取る学習である。

そのために、まず、かえるくんががまくんにお手紙のことを言ったわけについて話し合い、前時に学習したがまくんの様子とつないで、これ以上内 にしておいたらがまくんはますますおこって、お手紙のことを信じなくなってしまうと悩み、とうとうそのことを言うてしまうというかえるくんの気持ちを考えていく。次に、お手紙のことを聞いたがまくんが、お手紙のことを喜び、「とてもいいお手紙」と言ったわけについて話し合う。その、お手紙をもらえることについての喜びの大きさや、お手紙の内容にある「親愛なる」や「親友」について考えていくようにする。最後に、かえるくんが今までかくしていたお手紙のことを教えたわけと、これまで一度もお手紙をもらったことがないがまくんが、お手紙をもらえると知った時の気持ちを自分の言葉で書きまとめさせる

8. 板書計画



9. 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (◎基礎・基本の重点, 「関連づけて読む」活動に関して)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <p>学習のめあて</p>	<p>○ 前時までに学習したことから、がまくんがだんだん強い口調になってきていたことについて振り返り、本時のかえるくんの行動につないでいくように意 付ける。</p>
<p>お手紙のことを言ってしまったかえるくんと、それを聞いたがまくんのようすをくわしく読み、ふたりの気持ちを讀みたしかめよう。</p>	
<p>2 かえるくんが、お手紙を書いたことを言ってしまったわけについて考え、話し合う。</p> <p>(1) な , 今まで内 にしていたのか振り返り、かえるくんの気持ちをとらえる。</p> <p>(2) お手紙のことを言ったわけについて話し合い、かえるくんの 心をとらえる。</p> <p>3 お手紙のことを聞いたがまくんの気持ちについて話し合う。</p> <p>(1) がまくんの喜んでる様子をとらえる。</p> <p>(2) がまくんが「とてもいいお手紙だ。」と言っているわけをとらえる。</p> <p>○ がまくんが、お手紙の中の何が「いい」と言っているのか の人と話し合う。</p> <p>○ な , いいのか考える。</p>	<p>○ がまくんは、ずっと、ゆうびんうけにお手紙が届くことを楽しみにしていたことを振り返らせる。</p> <p>○ だんだんおこっていくがまくんの様子から、これ以上 しておくことができないかえるくんの気持ちを読み取らせる。</p> <p>○ 「きみが」を 読み、これまでとは違いお手紙が来ることを喜んでる様子を読み取らせる。</p> <p>◎ 「親友」と「友だち」の違いを考えさせ、かえるくんががまくんのことをだれよりも大切に思っていることを捉えさせる。</p> <p>◎ 「とてもいいお手紙」の「いい」をはずして読み、普通のお手紙との違いを考えさせる。</p>
<p>がまくんは、とてもいいお手紙と言っているけど、どこが<u>いい</u>と言っているのかな。 親愛なるって言う言葉がいいと思います。愛っていう が入っていて、それだけ大切に思っていることが分かるからです。 親友って書いてあるから、普通の友だちよりもっと大事に思っていることだから、親友って2回もいっているところがいいと言っていると思います。 かえるくんは、がまくんが親友なのうれしいといっているから、自分のことを喜んでくれていることがいいと言っているんだと思います。</p>	
<p>4 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) かえるくんがお手紙のことを教えたわけと、それを聞いたがまくんの気持ちをもとめる。</p>	<p>○ 板書をもとに、がまくんの様子を見ながら一生懸命にがまくんのことを考えているかえるくんと、初めてお手紙をもらえることを喜んでるがまくんの気持ちを捉えさせる。</p>
<p>かえるくんが、お手紙のことを教えたのはね、がまくんがだんだんおこってきて、もうこれいじ うだまっているのはだめだと思ったからだよ。 お手紙のことを聞いたがまくんはね、これまでとちがってやさしくお手紙のことを聞いてきたんだよ。そして、いいお手紙と言ったんだよ。どこがいいかというね、親友や親愛なるというように、大切に思っていることばがたくさん入っていて、じぶんのす そばに親友がいることに気付いたからだよ。</p>	
<p>(2) 本時で った読み方をまとめること</p> <p>○ 言葉を比べて読む</p> <p>○ 言葉をはずして読む</p>	<p>○ 本時で った読み方を振り返り、「読み方の種」としてまとめる。</p>

8. 板書計画

